

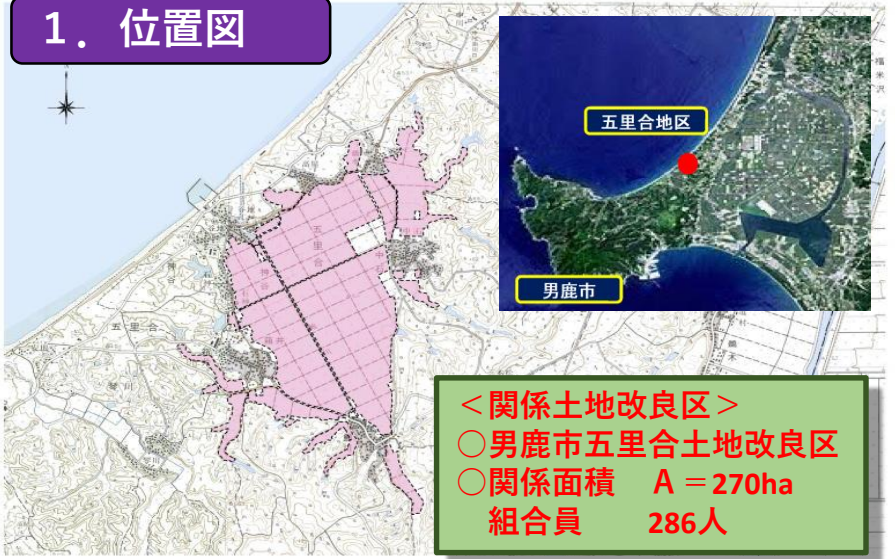
「儲かる農業」と「元気な農村」の実現に向けて

～産地づくりと一体となった基盤整備事業への取り組み～

農地集積加速化基盤整備事業

いりあい
五里合地区（男鹿市）

1. 位置図



2. 地区の状況

- 急速に進む人口減少と高齢化、後継者不足により集落機能の低下が懸念
人口：5年間で11%の減少 高齢化率：42.7%
- ほ場区画が狭小で排水が悪いため、効率的な営農や高収益作物の生産拡大に支障

◎五里合地区の農業・農村の持続的発展のため、ほ場整備事業を契機とした「儲かる農業」と「元気な農村」の実現に挑戦！！

3. 「あきた型ほ場整備」の実施

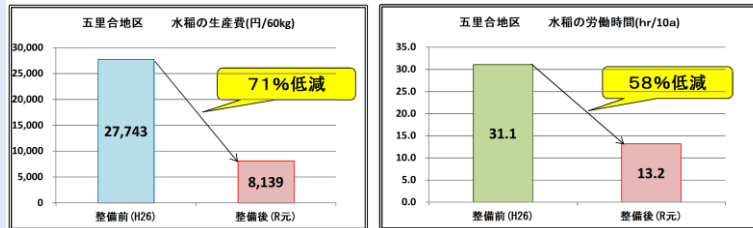
- <農地集積加速化基盤整備事業 五里合地区 概要>
- 総事業費 64億円 ○工期 平成27年～令和3年
 - 区画整理工 A = 249.4ha ○用水路工 L = 30.6km
 - 農道工 L = 30.4km
 - 暗渠排水工及び地下かんがいシステム A = 249.4ha



4. 「儲かる農業」に向けた取り組み

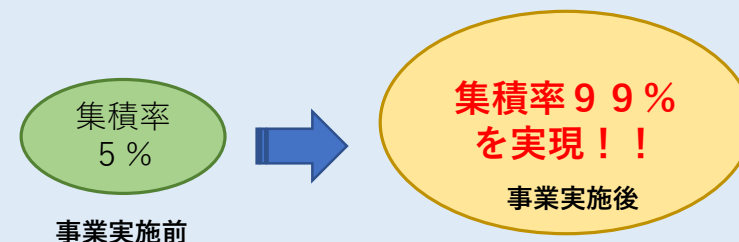
(1) 生産コストの大幅削減

- 大型機械の導入等により、生産コストを削減
- 生産費71%、労働時間58%の生産コスト大幅削減を実現！！



(2) 担い手への農地の集積・集約化の加速化

- 事業を契機に設立した3つの農業生産法人へ地区内の農地を集積・集約

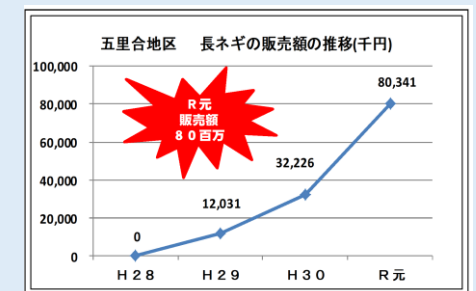


(3) 高収益作物の導入による収益の増大

- 19haの園芸メガ団地を整備し、長ネギを栽培
- 長ネギ販売額が2年で6.6倍に！！



大区画ほ場での長ネギ栽培



(4) 地域資源を活かした農産物の高付加価値化

- 地元の名水「滝の頭湧水」を農業用水として利用したブランド米の生産
- 「滝の頭湧水」を活用した純五里合産の純米酒の開発を計画中



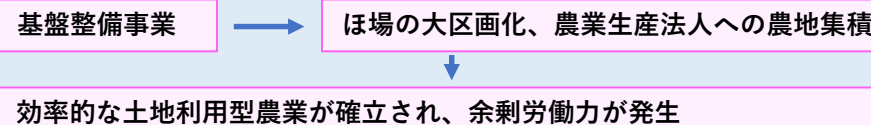
名水「滝の頭湧水群」



男鹿湧水「滝の頭米」

令和2年12月より、道の駅オガレにて好評販売中

5. 「元気な農村」の実現に向けた取り組み



北限の和梨「男鹿梨」の栽培・イベントに専念



梨もぎ取り体験



男鹿梨まつり



男鹿梨加工品（缶詰）

充実・強化

「地域の賑わい」創出

6. 将来の展望

- 更なる収益拡大へ向けて・・・
 - ・スマート農業による収量・品質向上の推進
 - ・海外も視野に入れた米の販路拡大
 - ・パイプハウスを有効活用した周年農業の確立（小松菜、ほうれん草など）
- 地域一体となった「食農観」連携を推進

